

1. 表の整形（セルの結合、円記号、斜線等）
2. ROUND 関数、ROUNDUP 関数、ROUNDDOWN関数
3. MAX 関数、MIN 関数
4. セルの相対参照、絶対参照

1. 次の表の上部を少し空けて作成し、以降の指示にしたがい表を完成させてください。

店舗名	1月分	2月分	3月分	合計	消費税	平均額	平均額		
							切り捨て	切り上げ	四捨五入
津店	6534	6453	7250						
鈴鹿店	4563	5000	5554						
松阪店	3534	3434	3645						
伊勢店	2942	2742	3145						
志摩店	1905	2003	2016						
月合計									

販売額最大値	
販売額最小値	

表が完成したら、販売額に記載された数値の先頭に円記号を（¥）をつけてください。

2. ROUND 系の3種類の関数（ROUNDDOWN、ROUNDUP、ROUND）を用いて平均額の切り捨て値、切り上げ値、四捨五入値をそれぞれ求めてください。
その際、店舗の1～3月分の合計金額をもとに消費税額（5%として）を求め消費税額欄は消費税額のみを表示させてください。また、平均額は合計額に消費税を加えた額をもとに求めてください。
3. MAX、MIN関数を用いて店舗別の販売額の最大値、最小値を求めてください。（店舗名を求める必要はありません）
4. 次のような消費税率欄を新たに表の右上部分に作成してください。

消費税	5%
-----	----

さらに消費税欄に消費税を求める際、上の税率を参照した上で消費税を求める表に修整してください。

完成したら先の消費税率欄の税率を10%に変更し、正しく完成しているかどうかを検証してください。